

答え合わせ・解説

問1	答え 3 刺す	「寸鉄人を刺す」の続きは「刺す」です。意味は「短い言葉で相手の急所を突き、深く感銘させること」です。
問2	答え 3 志を知らんや	「燕雀安んぞ鴻鵠の志を知らんや」の続きは「志を知らんや」です。意味は「小人物には大人物の大きな志や考えは理解できないということ」です。
問3	答え 1 無謀なことをして、自ら滅びを招くこと	「鶏卵を以て石を投ず」は「無謀なことをして、自ら滅びを招くこと」という意味です。
問4	答え 4 どんなに苦しい状況でも、不正な手段や道義に反する行いは決してしないこと	「渴しても盗泉の水を飲まず」は「どんなに苦しい状況でも、不正な手段や道義に反する行いは決してしないこと」という意味です。
問5	答え 3 実体がなく、とらえどころがないこと	「雲を掴む」は「実体がなく、とらえどころがないこと」という意味です。
問6	答え 2 捨ててしまうには惜しいが、大した利益はないもの	「鶏肋」は「捨ててしまうには惜しいが、大した利益はないもの」という意味です。
問7	答え 2 凡人の多くの言葉よりも、優れた人物の一言の方が価値があるということ	「雀の千声鶴の一声」は「凡人の多くの言葉よりも、優れた人物の一言の方が価値があるということ」という意味です。
問8	答え 4 墨守	「墨守」の「墨守」の部分が入ります。意味は「自分の主張や信念を固く守って変えないこと」です。
問9	答え 4 狐	「狐の嫁入り」の「狐」の部分が入ります。意味は「晴れているのに雨が降る天気雨のこと」です。
問10	答え 1 虎	「虎に翼」の「虎」の部分が入ります。意味は「強大な力を持つ者に、さらに強い味方が加わって無敵になること」です。
問11	答え 3 めったにない極めて稀なことのたとえ	「盲亀の浮木」は「めったにない極めて稀なことのたとえ」という意味です。
問12	答え 2 千	「春宵一刻値千金」の「千」の部分が入ります。意味は「春の夜のひとときは、千金にも値するほど趣深く貴重である」です。
問13	答え 3 周囲がすべて敵や反対者ばかりで、孤立無援の状態になること	「四面楚歌に陥る」は「周囲がすべて敵や反対者ばかりで、孤立無援の状態になること」という意味です。
問14	答え 4 蛇を出す	「藪をつついて蛇を出す」の続きは「蛇を出す」です。意味は「余計なことをしたために、かえって災いを招いてしまうこと」です。
問15	答え 3 名人は道具の良し悪しにこだわらず、立派な仕事をすること	「弘法は筆を選ばず」は「名人は道具の良し悪しにこだわらず、立派な仕事をすること」という意味です。
問16	答え 1 将来のことは全く予測できないということ	「一寸先は闇」は「将来のことは全く予測できないということ」という意味です。
問17	答え 4 隠していた本性や悪事が露見すること	「馬脚を現す」は「隠していた本性や悪事が露見すること」という意味です。